

Semester 2 始業式 校長講話

MOISの校訓 3つのG

その3

3つのG

Grit (グリット) = やり抜く力

Growth (グロウス) = 成長し続ける力

Global (グローバル) = 世界に視野を広げる力



Copenhagen

London

Venice

Istanbul

Athens

Amman

Islamabad

Casablanca

Dubai

Kolkata

Jeddah

Dakar

Khartoum

Bengaluru



London

Frankfurt

Kyiv

Geneva

Venice

Nice

Rome

Istanbul

Baku

Tunis

Malta

Athens

Amman

Baghdad

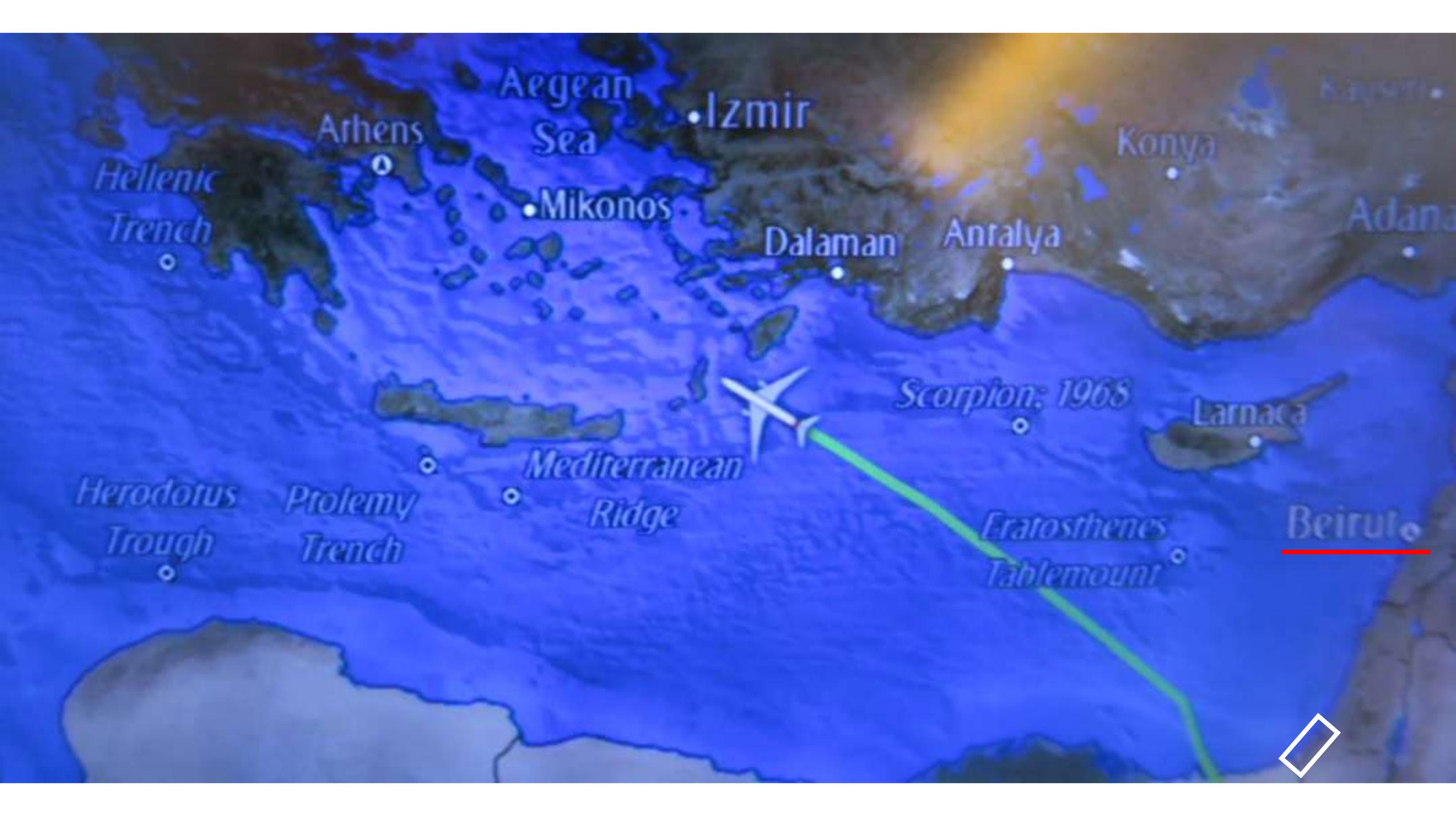
Tripoli

Cairo

Bahrain

Dubai





Aegean
Sea

Izmir

Konya

Karsli

Arhens

Hellenic
Trench

Mikonos

Dalaman

Anralya

Adana

Scorpion; 1968

Larnaca

Mediterranean
Ridge

Herodotus
Trough

Prolemy
Trench

Eratosthenes
Tablemount

Beirut



ガザ地区戦闘 1年 死者は4万1000人超

戦闘はレバノンにも拡大 (10/7 NHK NEWS WEBより抜粋)

1年前の10月7日に行われたハマスによるイスラエルへの大規模な奇襲攻撃では、およそ1200人が殺害されたうえ、251人が人質として連れ去られ、いままも101人が捕らえられたままです。

ハマスの壊滅と人質の解放を掲げるイスラエル軍は7日も、中部デルバラハにある病院内でハマスが活動しているとして空爆を行うなど、ガザ地区の各地で攻撃を続けています。

一方、ハマスは7日、声明でイスラエル軍が凶悪な犯罪と虐殺を繰り返し、1年間で4万1000人以上を殺害し、そのほとんどが女性と子どもだと主張しました。

そのうえで「侵略と人々の苦しみを終わらせるための努力を続ける」などと述べ、イスラエル軍が完全に撤退するまで徹底抗戦を続ける考えを強調しました。

レバノンでの戦闘の激化など中東でのさらなる紛争の拡大が懸念されるなか、ガザ地区の住民からは国際社会の関心の低下を懸念する声も聞かれます。

中東情勢の悪化を聞いて…

あなたは何を感じ、何を考えましたか？

あなた自身は、自分たちの未来をどうしたいと思いますか？

人と人が傷つけ殺し合う、国と国との戦争とは何なののでしょうか？

理想と現実が一致しないのは、どうしてなののでしょうか？

よりよい世界とは、どのような世界なののでしょうか？

よりよい世界とは、どうすれば実現できるのでしょうか？

そのために私たちは、何をすべきなののでしょうか？

そのためにあなたには、何ができるのでしょうか？

Close



バクー

アルマアタ

バグダード

アルバスラー

ケルマーン

ドバイ

ラホール

テリー

蘭州

西安

成都

包頭

北京

濟南

ソウル

杭州

札幌

東京

伊豆

クリ

再び・・・3つのG

Grit「最後までやり抜く力」を身に付け、

Growth「生涯に渡って学び、成長し続ける」ことで、

Global「国際的な視野を持って、

よりよい世界を築くことに貢献する」人になっていこう！

Semester 2 を迎えて、今の自分にできることは何なのか、
自分の頭で考えて、覚悟して、勇気を持って実行を！

そのためにも6年生諸君！

がんばれ青春！悔いを残すな！！

MOIS の皆さん、おはようございます。校長の関田です。

9日間の秋休みを経て、今日から Semester 2 が始まります。Semester 1 の終業式では、通知表の成績についてお話ししました。MOIS での成績は、過去を振り返り、現在の己を知り、未来に向かって自分自身を磨き高めていくための資料だと、秋休みに時間があれば、その通知表を活用して自分自身の生活や学習を振り返り、そこから Semester 2 の目標を掲げてみるといい、と話しました。

今日は、9月2日の朝礼で予定していた「3つのG その3」についてです。5月と7月のリモート全校集会では、本校の校訓である「3つのG」のうち、Grit「やり抜く力」とGrowth「成長し続ける力」についてお話ししました。今日はGlobal「世界に視野を広げる力」のMindset「考え方、心構え」について、一つのエピソードを紹介してお話しします。

まず1枚の画像を見てもらいます。さて、これは何でしょうか？各自で1分間じっくりと眺めてください。右上のオレンジの光は、気にしないでください。次に少し拡大した画像をお見せします。

改めて問います。これは何でしょうか？さらに各自で1分間考えてください。

これは、Semester 1 の終業式でお知らせしたように、イタリア旅行に出発した私が、経由地であるUAE、アラブ首長国連邦のドバイからイタリアのベニスへ向かう飛行機の中で、座席のモニターに映し出した航路を写したものです。右上のオレンジの光は、単に機内の照明が写り込んでしまったものです。

えっ？それが答えなの？でも、それが何だっていうの？校長の旅日記の話か？違います。飛行機の航路を示す緑色の線が、ドバイからベニスに向けて直線ではなく、なんだか下に、南に迂回しているように見えませんか？何かをよけているように見えませんか？

なお、ここでは直接影響はありませんでしたが、飛行機のアイコンの上、トルコのイスタンブールの北には、ウクライナの首都キーウも表示されています。

更に拡大した画像です。既に先ほどの画像で気付いている人も多いでしょうが、具体的に説明できるよう考えてください。中央に表示されている飛行機のアイコンは、南に迂回して、ヨルダンの首都アンマンとエジプトの首都カイロとの中間あたりを抜けて飛行しています。どうやら直線的に最短距離を飛行しているわけではないようです。ヨルダンとエジプトの間にある国は何ですか？オレンジ色の国です。思い出してください。知らなければ、考えてみてください。そう、イスラエルです。

更に拡大した画像です。右下の小さな白い枠で囲ったエリアが、ガザです。右端にはレバノンの首都ベイルートも示されています。9月22日からニューヨークで行われた国連総会において、我が国の岸田・前総理大臣が未来サミットでスピーチを行ったり、上川・前外務大臣がエジプト・ヨルダンとの三国外相会談を行ったりしたことの背景にある、現在

進行形の中東情勢です。また、ウクライナ情勢についても、国連で、当時の岸田総理はゼレンスキー大統領と首脳会談を、上川外相はシビハ外相と外相会談を行っています。

ここまで4枚の画像は、10月7日のフライトのものですが、奇しくもその日はパレスチナのガザ地区でイスラエル軍とイスラム組織ハマスの戦闘が始まって1年となった日です。当日のNHKWEBNEWSの記事の一部を抜粋します。少し時間を取りますので、各自で黙読してください。

ここまでのスライドを見て、私の話を聞いても、もしチンプンカンプンだったならば、今からでも現在の国際情勢について、もう少し関心を持ってニュースなどの報道に触れましょう。中学生でも高校生でも、MOIS生ならなおさら、子どもだから早過ぎるなんてことはありません。Global「世界に視野を広げる力」のMindset「考え方、心構え」の一つとして、国際情勢、とりわけ戦争や紛争への関心は、嫌でも避けられないことです。

こうした中東情勢の悪化を聞いて、

あなたは何を感じ、何を考えましたか？

あなた自身は、自分たちの未来をどうしたいと思いますか？

人と人が傷つけ殺し合う、国と国との戦争とは何なのでしょう？

理想と現実が一致しないのは、どうしてなのでしょう？

よりよい世界とは、どのような世界なのでしょう？

よりよい世界とは、どうすれば実現できるのでしょうか？

そのために私たちは、何をすべきなのでしょう？

そのためにあなたには、何ができるのでしょうか？

おまけの1枚、帰国時の画像です。北京から東京まで直線で飛行すると、必ず通過するだろう国と都市を避けているようです。国際情勢とは、決して遠い他国の問題ではありません。

最後のスライドです。本校の校訓である「3つのG」は、Grit「最後までやり抜く力」を身に付け、Growth「生涯に渡って学び、成長し続ける」ことで、Global「国際的な視野を持って、より良い世界を築くことに貢献する」人になっていこう！ということです。

そのためにSemester 2を迎えて、今の自分にできることは何なのか、自分の頭で考えて、覚悟して、勇気を持って実行していきましょう。

そして、そのためにも6年生諸君！がんばれ青春！悔いを残すな！！